



東南アジアでのものづくりを 技術面からサポート

現地における情報提供や試験機関の紹介、駐在員から現地スタッフまでの幅広い人材育成支援、各機関と連携した産業交流など

バンコク支所は、ASEAN地域に展開する日系中小企業を支援するため、平成27年4月にタイ王国(以下、タイ)のバンコクにオープンしました。タイに進出した企業が現地で抱えるものづくりの課題解決への支援を実施しています。支援対象を東京都内に親会社を持つ企業に限定していませんので、日系企業の皆さま、ぜひお気軽にご相談ください(バンコク支所長 阿保 友二郎)。



■ About Bangkok
バンコクはタイ王国の首都です。正式名称は非常に長いことで有名です。ASEANの中軸国として、東南アジアの中心に位置し、国土面積は日本の約1.4倍。季節は、暑期(3月~5月)、雨期(6月~10月)、乾期(11月~2月)があります。年間平均最高気温は33~34℃、年間平均最低気温は25℃台です。

ラボツアー

タイの日系中小ものづくり企業は、大手企業の下請けのほかには、日本からの発注による製造・組み立てなどを担う場合が多いようです。海外展開当初に目途としていた事業が軌道に乗り、さらなる発展を目指す段階になると、「試験品を日本に送って調べるには費用や時間がかかるため、タイ国内で試験を行いたい」、「タイ国内で実施可能な試験や校正の有無を確認したい」といった要望も出てきます。しかし、「機関情報を得ようにも、まずどうやって探し始めれば良いかわからない」、「実施していそうな機関を見つけたものの詳細不明だ。実際に行ってみて施設や設備を確認しない限りできるかどうかかわからない」といった日本国内ではあまり起こらなそうとなつたまま、海外に進出している中小企業においては、たびたび起こる事案といえます。

こんな時は「ラボツアー」にご参加くださ

い。ツアーは定期的開催しています。平成30年度は、これまでで最多となる6機関へのツアーを実施しました(予定含む)。参加者からは「日本に送らずにできる試験が多くあることがわかった」、「タイの試験・校正機関の設備内容を見ることができた。これから活用するための良いきっかけとなった」などの評価をいただいています。平成30年度は測定機器や器具などの校正機関を多く回りました。「お客さまとの打ち合わせの場でも、機器の校正についての話題が上がるため、実際の間を見学できて参考になった」といったご意見もいただき、好評でした。

これからも、タイにおける試験・校正機関への施設見学は継続しますので、現地で完結できるものづくり・環境づくりを目指す方、タイにおける試験・校正機関とのコミュニケーションを必要とされる方がいらっしゃいましたら、どうぞお気軽にご参加ください。

現地における人材育成支援

バンコク支所では、日系中小企業の人材育成、品質管理、技術動向および産業動向など、現地のニーズに即したテーマによるセミナーを行っています。テレビ会議システムによって都産技研本部の研究者とタイを結び、比較的少人数で実施する「遠隔セミナー」も開催しています。多岐の業務を担当



展示会「Metalex2018」



オーダーメイドセミナー



埼玉県タイサポートデスク
共催セミナー/ビジネス交流会

する海外駐在者は、専門技術以外にも、日本では携わってこなかった多くの業務を処理する必要があると聞きます。このことは「顧客からよく質問されるため、測定方法を知っておきたかった」といった参加動機からもわかります。参加者からは「普段使っているものをより深く知ることができました。これからつくる管理体制にとっても役立つと思います」、「テレビ会議システムは距離を感じさせず、セミナーに適していると感じました」などのご意見をいただいています。今後、タイの遠隔地でもテレビ会議システムを利用できれば、支援の幅が広がると考えています。

また、平成30年度は、支援の連続性を考慮し、遠隔セミナーのテーマに関わる都産技研職員をタイにおける展示会(Metalex2018)に派遣し、より具体的な相談にも対応できるようにしました。

バンコク支所にはタイにおける試験規格、製品不具合に対する対策方法などの技術面に関する相談が多々ありますが、一番多く寄せられる課題は「現地スタッフの人材育成」すなわち、実践型人材の育成であるといえます。バンコク支所の直接的な支援事業の一つに実地技術支援が挙げられます。「バンコク支所には、専門性の高い技術支援のほか、現地従業員への技術指導なども行っていただきました。これをきっかけに社内教育の活性化を図ることができました」といった評価もいただけてきました。

平成30年度は、より専門性の高い人材育成支援の取り組みとしてオーダーメイドセミナーの初開催に至りました。オーダーメイドセミナーは、「タイ人従業員の技術レベルを向上させたい」という、多くの中小企業の皆さまから寄せられる相談に対応したものです。日本とは多少異なるタイに合っ

た実践型人材育成のあり方については、課題解決手段の一つとなる重要なテーマとして、より発展させていく必要があると考えています。

他機関との連携による 産業交流の推進

バンコク支所は、タイにおける外部機関と連携した現地支援の推進も目指しています。

特に、公益財団法人東京都中小企業振興公社タイ事務所とは、参加企業間の交流の場を提供する「ものづくり企業交流会in Bangkok」をこれまで相互開催してきました。平成30年度のバンコク支所の回では、技能実習生制度のタイ側の送り出し機関からの提言をテーマにしたセミナーや、3Dキャドと3Dスキャナーのワークショップを交えたセミナーを開催しました。「企業交流会への参加は、ネットワークを広げるために大変有意義なものとなりました」といったご意見をいただいています。

ほかにも、初の共催となった埼玉県タイサポートデスクとは、ものづくり中小企業においてもタイを製造拠点だけでなく商圏としてとらえる見方が高まっていることを踏まえ、「タイにおける見本市や展示会における通関の実際とその後の商品展開」をテーマにしたセミナー/ビジネス交流会を実施し、盛況となりました。

また、MOU*を締結しているタイの機関であるTPA(泰日経済振興協会)には「ラボツアー」の開催、TNI(泰日工業大学)には「ものづくり企業交流会 in Bangkok 2019」において「日系企業のものづくりニーズに 대응するTNIの取り組み」をテーマにした講演を依頼しました。ラボツアーはTPAの新規顧客獲得のきっかけとなりました。

※ MOU
Memorandum of Understanding
組織間の業務提携・協力に関する覚書

お問い合わせ

バンコク支所に関する詳細は、以下のウェブサイトよりお問い合わせください。

<https://www.iri-tokyo.jp/ques/questionnaire.php?openid=9&check>



ラボツアー

遠隔セミナー